

陽北地域学校園
図書キャラクター
のリック家族です。
よろしくね!

図書館だより

宇都宮市立陽北中学校
令和3年 4月号



入学・進級おめでとうございます。陽北中学校図書館では、本の貸出やレファレンス、調べ学習の資料提供など、みなさんの読書活動の支援を行っています。図書館には、授業に役立つ本・ためになる本の他に、皆さんからのリクエストの本や話題の本など、たくさんの本があります。学校図書館の利用の仕方を守って活用してください。よろしくお願いいたします。

学校図書館の利用の仕方

貸出日・・・月曜日～金曜日

貸出時間・・・昼休み ※授業での利用時も可能

貸出冊数・・・1人3冊まで(通常)

貸出期間・・・1週間

予約・・・読みたい本が貸出中のときは、予約をすることができます。カウンターにある予約カードに記入し司書に手渡してください。

*連絡をしてから 1 週間以内に借りに来ない場合は、キャンセル扱いになります。

※学校図書館が閉まっている場合は、返却ボックスを利用してください。



「禁帯出」のシールが貼られた本、マンガ本は貸出できません



借り方・返し方

貸出: カード貸出をしません。窓口で、学年・クラス・番号・名前を伝えてください。

返却: 本を消毒しますので、本は、一度預かります。書架に戻す必要はありません。

- 本からの感染を防ぐためにも学校図書館に入る前、出た後は、しっかり手を洗うことをお願いします。
- 発熱・体調不良の時は、入館を控え、借りた本は、なるべく読まないようにしましょう。
- 利用が多い場合は、入館制限を行います。(35人まで)
- 閲覧席は、間隔をあけて座りましょう。(表示あり)

※密の状態を避けることなど、館内においては、係の指示に従ってください。

図書の紛失・



破損について

図書を大切に扱い、責任をもって管理することで、図書の紛失・破損0を目指しましょう。

(紛失した可能性がある場合は、学校司書に連絡してください。)

リクエストができます!



- ① 図書購入希望アンケート
図書委員会で全クラスを対象に行っています。購入して欲しい図書がある人は記入してください。
- ② リクエストBOX (常時)
図書館の受付横に、記入用紙とBOXがあります。

学校司書から

今年度も陽北中学校の学校司書として勤務することになりました吉川裕見子です。本に関することや図書館のことなど、分らないことがありましたら何でも気軽に声をかけてくださいね。



○図書館利用のルール

周りの迷惑になる行為はせず、皆さんが快適に過ごせる図書館にしていきましょう。

- ☆図書館内では静かにしましょう。
- ☆本は丁寧に扱ってください。破いたり書き込んだり、折ったりしないでください。破れた本を見つけたら学校司書まで。
- ☆本を本棚に戻すときは、請求記号を確認し正しい場所に戻しましょう。
- ☆必ず貸出の手続きをしてから持ち出してください。
- ☆また貸しはしないください。
- ☆使った机やイスは整理しましょう。
- ☆消しゴムのカスはゴミ箱へ捨ててください。



本の紹介をします！



図書館には、いろいろなジャンルの本があります。幅広く読んでみましょう。

『色と性格の心理学 たった1秒で人を見抜く・自分を変える』

ポーポー・ポロダクション/著 日本文芸社 141/ポ



色と性格の本。人間関係に役立てたり、自分を変えたりする方法が分かりやすく書かれています。色は複雑だけど面白いので、色に興味を持って自由に色を使って楽しむことを勧めています。色が持つ不思議な魅力を感じてみませんか？

『お札に描かれる偉人たち 渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎』

楠木誠一郎/著 講談社 281/ク



2024年（令和6年）に一万円札、五千円札、千円札のデザインが変わります。一万円札に渋沢栄一、五千円札に津田梅子、千円札に北里柴三郎です。どんな時代に、どの様に活躍したのか、また、日本の発展にいかに関与したのかを知り、三人の生き方から学んで、これから役立ててください。

『中学生の頭の中身をのぞいたら、未来が明るくなりました。中学生の「なりたい大人」名文105』

なりたい大人研究所/編 KTC中央出版 816/ナ



この本は、2019年夏に「なりたい大人作文コンクール」に応募された約1万7千人の全国の中学生の中から105作品を選び、ほぼ原文のまま掲載されています。短い文章に、たくさんの希望、夢、未来が詰まっています。みなさんも、どんな大人になりたいと思っているか考えてみましょう。さらに、元気や勇気ももらえるはずですよ。

『お探し物は図書室まで』 青山美智子/著 ポプラ社 913/ア **2021年本屋大賞 第2位**



コミュニティハウスに図書室があります。そこの司書は、大柄な女の人で、名前は、さゆりさん。悩みを持つ人が訪れて、本を探していると、「何をお探し？」と声をかけられます。聞き上手なさゆりさんによって、思わず本音や悩みを打ち明けてしまいます。さゆりさんが提示してくれた本のリストには、一見関係なさそうな本も含まれていますが、その一冊にも助けられます。本からきっかけをつかみ、次へと進んでいくお話です。